

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成19年11月1日(2007.11.1)

【公開番号】特開2006-110729(P2006-110729A)

【公開日】平成18年4月27日(2006.4.27)

【年通号数】公開・登録公報2006-017

【出願番号】特願2004-297241(P2004-297241)

【国際特許分類】

B 4 1 J	2/44	(2006.01)
B 4 1 J	2/45	(2006.01)
B 4 1 J	2/455	(2006.01)
G 0 2 B	13/00	(2006.01)
H 0 4 N	1/036	(2006.01)
H 0 5 B	33/02	(2006.01)
H 0 1 L	51/50	(2006.01)

【F I】

B 4 1 J	3/21	L
G 0 2 B	13/00	
H 0 4 N	1/036	A
H 0 5 B	33/02	
H 0 5 B	33/14	A

【手続補正書】

【提出日】平成19年9月18日(2007.9.18)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】露光ヘッド及びそれを用いた画像形成装置

【手続補正2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

基板と、

前記基板に複数配された発光素子と、

前記基板に配された色収差補正レンズと、

屈折率分布型ロッドレンズを複数配したロッドレンズアレイと、

を有することを特徴とする露光ヘッド。

【請求項2】

前記色収差補正レンズは、前記発光素子が配された前記基板面の反対面上に配されることを特徴とする請求項1に記載の露光ヘッド。

【請求項3】

前記色収差補正レンズは、前記基板面に形成された穴部に配された凸レンズであることを特徴とする請求項1又は2に記載の露光ヘッド。

【請求項4】

前記色収差補正レンズは、凹レンズである第1のレンズと、凸レンズである第2のレンズとにより構成されることを特徴とする請求項1ないし3のいずれか1つに記載の露光ヘッド。

【請求項5】

前記発光素子が、陰極と、発光層と、正孔注入層と、透明電極と、隔壁とを有する有機EL発光素子であることを特徴とする請求項1ないし4のいずれか1つに記載の露光ヘッド。

【請求項6】

感光体と、

帯電手段と、

基板と、前記基板に複数配された発光素子と、前記基板に配された色収差補正レンズと、屈折率分布型ロッドレンズを複数配したロッドレンズアレイと、を有する露光ヘッドと

現像装置と、

を有することを特徴とする画像形成装置。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、有機EL発光素子アレイからの発光を結像光学系により感光体上に露光する露光ヘッドとそれを用いた画像形成装置に関する。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

発明は、前記従来技術のもつ課題を解決した、簡単な構成で、有機EL発光素子の波長分布により生じるスポット径の増大化を防止し、画質の良い有機EL発光素子ラインヘッドからなる露光ヘッドとそれを用いた画像形成装置を提供することを目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

前記課題を解決するために、請求項1に記載の露光ヘッドは、基板と、前記基板に複数配された発光素子と、前記基板に配された色収差補正レンズと、屈折率分布型ロッドレンズを複数配したロッドレンズアレイと、を有することを特徴とし、請求項2に記載の発明は、請求項1の露光ヘッドにおいて、前記色収差補正レンズは、前記発光素子が配された前記基板面の反対面上に配されることを特徴とし、請求項3に記載の発明は、請求項1又は2の露光ヘッドにおいて、前記色収差補正レンズは、前記基板面に形成された穴部に配された凸レンズであることを特徴とし、請求項4に記載の発明は、請求項1～3のいずれか1つの露光ヘッドにおいて、前記色収差補正レンズは、凹レンズである第1のレンズと、凸レンズである第2のレンズとにより構成されることを特徴とし、請求項5に記載の発明は、請求項1～4のいずれか1つの露光ヘッドにおいて、前記発光素子が、陰極と、発光層と、正孔注入層と、透明電極と、隔壁とを有する有機EL発光素子であることを特徴とし、請求項6に記載の発明は、画像形成装置において、感光体と、帯電手段と、基板と

、前記基板に複数配された発光素子と、前記基板に配された色収差補正レンズと、屈折率分布型ロッドレンズを複数配したロッドレンズアレイと、を有する露光ヘッドと、現像装置と、を有することを特徴とする。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0031

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0031】

【図1】本発明の露光ヘッドの実施形態を示す図である。

【図2】本発明の露光ヘッドの実施形態を示す図である。

【図3】本発明の露光ヘッドの実施形態を示す図である。

【図4】本発明の露光ヘッドの実施形態を示す図である。

【図5】本発明の画像形成装置の実施形態を示す図である。

【図6】従来技術を示す図である。

【図7】従来技術を示す図である。